

## 二十歳の誓い

私は小学校1年からサッカーを始め、中学・高校と大好きなサッカーに没頭し、高校時代には中国の北京で行われた国際大会にも参加しました。この大会は韓国・シンガポール・マレーシアのチームも参加し、ここでの10日間は人生で最も刺激的で充実したものでした。言葉はあまり通じませんでしたが、サッカーを通してお互いを高め合いリスペクトの気持ちを忘れず懸命に試合にぶつかりあいました。しかし、結果的には高校時代レギュラーポジションを掴むことが出来ず、生活の一部だったサッカーで結果が残せなくて苦しみました。でも今振り返るとサッカーのお陰で忍耐力や貢献意識を持つことの大切さを学び、異文化交流に興味をもったのもこの時期で、人生の大きな分岐点になりました。

現在私は大学に併設されている国際寮に、日本人メンターとして入寮しています。国際寮には23カ国から集まった81名の留学生が生活していますが、私の役割は彼らと寝起きを共にしながら、日本での日常の生活指導や日本語学習サポートなどを主に行っています。

現在私のユニットには6名の留学生が参加しています。イタリア・インドネシア・中国・韓国から来ている留学生です。みんな夜遅くまで共用のリビングで一緒に授業の課題や復習、語学の勉強をしています。中には半年だけの交換留学生なのに、週4回大学の食堂で働き、帰宅後は授業の復習、休日も図書館で勉強するルームメイトもいます。今一生懸命努力することが、将来の自分を必ず助けてくれると信じて勉強しているのです。毎日すごく刺激を受けています。

私はこれまで自分に自信が無い中で、もがき苦しんできました。しかし長い時間を経た今、ようやく人生が動きだしました。私の大きな夢は世界最大級の規模を誇るアジアのマーケットで活躍することです。どんな状況におかれても今度は必ず結果を残します。そのためにこれからすべきことは、コミュニケーション能力を鍛えることです。言葉だけではなく、思っていること、表情、身ぶり、声そのすべてが一致していないと伝わらないと思っています。そして、相手の考えをとことん理解しようとする姿勢も大切だと思います。

しっかり勉強して京都から世界へ、自分が信じる道を突き進んで行くことを「二十歳の誓い」といたします。

平成31年1月14日 新成人代表 射水 祐希